

市道下三之町本町線 行神橋

令和元年7月に着手した（仮称）宮川人道橋整備工事は令和2年7月5日に完成式を行い供用開始しています。

路線名	市道下三之町本町線
橋梁名	行神橋 有効幅員 W=3.0m（歩道橋） 橋長 L=41.7m
橋の構造形式	上部工 中路式鋼単純鉸桁橋（桁本数2本）鋼床版 下部工 逆T式橋台（2基 深礎杭基礎φ2000mm L=7.0m、7.5m）

橋の特徴
橋梁の外側面には傾斜をつけたヒノキを格子状に取り付けたほか、歩道の手摺部分もヒノキ材張りとなりました。
また、夜間はLEDの間接照明によりライトアップされます。

事業の目的
高山市の古い街並みや宮川朝市通り、伝統的建造物保存区域と駅前地域や本町商店街等との周遊性の向上を図り中心市街地の活性化につなげることを目的としています。
朝市通りの修景などとともに、景観の向上を図り新しい高山市のシンボルとなることを期待しています。

